DJI FPV

DJI FPVにおけるゴーグルを使用した飛行について

日本国内において、屋外でゴーグルを使用するFPV（First Person View）飛行は、航空法における「承認が必要となる飛行の方法」の中の「目視外飛行」に該当します。この条件下で飛行を行う場合には、航空局長の承認が必要となり、国土交通省へ承認申請を行う必要があります。同法および関係法令を遵守し、安全確保に努め、第三者に迷惑をかけることなく飛行させてください。

無人航空機飛行許可申請

国土交通省によるドローン情報基盤システム（DIPS）では、上記の「目視外飛行」を含む飛行許可の申請をインターネットを通じて行い、オンラインで提出することができます。詳しくは、下記のドローン情報基盤システム（DIPS）サイトをご確認ください。

ドローン情報基盤システム（DIPS）

DIPS Drone / UAS Information Platform System

- 無人航空機の飛行に関する許可・承認申請
- 無人航空機の飛行実績の報告
- 無人航空機による事故等の情報提供

https://www.dips.mlit.go.jp/portal/

無人航空機の飛行ルール

飛行禁止エリア

① 空港などの周辺の上空

② 150m以上の高さの空域

③ 国の重要施設

④ 防衛施設

⑤ 外国公館等

⑥ 原子力事業所

⑦ 2021年 東京オリンピック競技大会 パラリンピック競技大会

⑧ 人口集中地区の上空

禁止飛行行為（承認を必要とする飛行方法）

⑨ 人や建物との距離が30m未満の飛行

⑩ イベント上空飛行

⑪ 目視外飛行（ゴーグル使用のFPV飛行含む）

⑫ 夜間飛行

⑬ 物件投下

⑭ 危険物輸送

守るべきルール

⑮ 飲酒時の飛行禁止

⑯ 危険な飛行禁止

⑰ 飛行前点検

⑱ 衝突予防（飛行機・ヘリコプター）

DJI JAPAN 安全飛行ページ

https://www.dji.com/jp/flysafe/

※ これらの法令・ルールに違反した場合には、法律による罰金または懲役が課されることがあります。詳しくは、①②⑧については国土交通省航空局のウェブサイト、③～⑦については警察庁のウェブサイトをご確認ください。

※ 本ページを通じて提供される法律関連情報は、あくまで注意・参考までに提供するものであり、網羅的なものではありません。お客様はご自身の責任においてドローンを安全かつ適法的にご使用ください。

※ 記載内容は2021年3月現在のものです。最新の情報については、お客様の方で各ウェブサイト等でご確認ください。